

2025年2月期 中間決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年10月15日
上場取引所 東

上場会社名 リサイクルテック・ジャパン株式会社
コード番号 185A URL <http://www.r-t-j.co.jp/>
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 高取 美樹
問合せ先責任者（役職名） 取締役統括管理部長（氏名） 伊東 謙 TEL 052-355-9888
発行者情報提出予定日 2024年11月29日
配当支払開始予定日 —
中間決算補足説明資料作成の有無 : 無
中間決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2025年2月期中間期の業績（2024年3月1日～2024年8月31日）

（1）経営成績

（%表示は対前年同期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期中間期	1,376	△24.0	33	△74.0	34	△76.2	36	△56.9
2024年2月期中間期	1,811	—	128	—	145	—	85	—

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年2月期中間期	30.17	—
2024年2月期中間期	70.02	—

（注1）当社は2023年2月期においては中間財務諸表を作成していないため、前中間会計期間における対前年同期増減率を記載しておりません。

（注2）2024年2月20日開催の臨時株主総会決議に基づき、同日付で普通株式1株につき200株の株式分割を行いました。2024年2月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり中間純利益を記載しております。

（注3）潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、希薄化効果を有する潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年2月期中間期	1,905	648	34.0	532.50
2024年2月期	1,746	625	35.8	513.33

（参考）自己資本 2025年2月期中間期 648百万円 2024年2月期 625百万円

2. 配当の状況

	年間配当金		
	中間期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭
2024年2月期	0.00	11.00	11.00
2025年2月期	0.00	—	—
2025年2月期(予想)	—	—	—

（注1）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

（注2）2025年2月期の期末及び合計の配当金額は未定であります。

3. 2025年2月期の業績予想（2024年3月1日～2025年2月28日）

（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,549	2.5	200	△25.6	201	△29.0	120	△31.7	99.10

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理及び簡便な会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年2月期中間期	1,218,000株	2024年2月期	1,218,000株
2025年2月期中間期	－株	2024年2月期	－株
2025年2月期中間期	1,218,000株	2024年2月期中間期	1,218,000株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（中間期）

(注) 2024年2月20日開催の臨時株主総会決議に基づき、同日付で普通株式1株につき200株の株式分割を行いました
が、2024年2月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数（普通株式）を記載しております。

※ 中間決算短信は公認会計士又は監査法人の中間監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	6
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間会計期間における我が国経済は、コロナ禍からの経済活動の正常化に伴って経済の自立的循環メカニズムが整い、穏やかな回復基調となりました。過去最高を更新した企業業績や積極的な設備投資等、企業部門は全体として好調さを維持しました。また、完全失業率が低位で推移、春季労働交渉での賃上率が高水準になる等、労働需給は引き締まった状態が続いています。その一方で、名目賃金や所得の伸びが物価上昇に追いつかない状況となっており、力強さを欠く個人消費、急速な円安の進行を要因としたコストプッシュ型物価上昇懸念による消費者マインドの委縮、地震や台風等の自然災害、自動車メーカーの型式指定認証の不正問題等の外生的ショック等が経済成長率を下押しする事態となっております。

こうした状況の下、当社におきましては、パチンコホールのスマート遊技機（スマパチ、スマスロ）導入による廃棄台の回収増加を期待しましたが、同業他社との間における価格競争が激化し、合わせて廃棄台の回収状況も厳しくなりつつあります。

これらの結果、売上高は1,376,106千円（前年同期比24.0%減少）、営業利益は33,389千円（同74.0%減少）、経常利益は34,714千円（同76.2%減少）、中間純利益は36,747千円（同56.9%減少）となっております。

なお、当社は、遊技機リサイクル・リユースを主体とするリサイクル・リユース事業を行っており、単一セグメントであるため、セグメント別の業績等の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当中間会計期間末における流動資産の残高は1,459,657千円で、前事業年度末に比べ135,903千円増加しております。主な増加要因は現金及び預金の増加360,920千円等、主な減少要因は未収還付法人税等の減少96,073千円、売掛金の減少67,204千円、電子記録債権の減少44,338千円、未収消費税等の減少37,744千円等であります。

(固定資産)

当中間会計期間末における固定資産の残高は445,466千円で、前事業年度末に比べ22,641千円増加しております。主な増加要因は繰延税金資産の増加21,517千円等であります。

(流動負債)

当中間会計期間末における流動負債の残高は545,135千円で、前事業年度末に比べ103,345千円増加しております。主な増加要因は買掛金の増加53,788千円、1年内返済予定の長期借入金の増加24,715千円、未払法人税等の増加19,278千円等であります。

(固定負債)

当中間会計期間末における固定負債の残高は711,408千円で、前事業年度末に比べ31,849千円増加しております。主な増加要因は長期借入金の増加37,784千円等であります。

(純資産)

当中間会計期間末における純資産の残高は648,579千円で、前事業年度末に比べ23,349千円増加しております。増加要因は中間純利益36,747千円の計上による利益剰余金の増加、減少要因は剰余金の配当13,398千円による利益剰余金の減少であります。

②キャッシュ・フローの状況

当中間会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は1,096,814千円（前事業年度末比380,944千円増加）となりました。各キャッシュ・フローの状況とその主な要因は以下の通りであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は347,329千円となりました。主な増加要因は売上債権の減少額111,543千円、法人税等の還付額96,073千円、仕入債務の増加額53,788千円、未収消費税等の減少額37,744千円、税引前中間純利益の計上34,714千円、減価償却費25,304千円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は6,689千円となりました。主な減少要因は有形固定資産の取得による支出22,736千円等によるものであり、増加要因は定期預金の払戻による収入20,039千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得した資金は40,304千円となりました。増加要因は長期借入れによる収入200,000千円によるものであり、主な減少要因は長期借入金の返済による支出137,501千円、配当金の支払額13,398千円等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、遊技機業界への客足は緩やかに回復し、新台への入替えに伴う廃棄台処理需要も徐々に回復してくるものと思われま

す。当社は、サーキュラーエコノミーへの転換における循環ビジネスへの一翼を担う企業として、遊技機リサイクル・リユース事業のみならず、他業界の企業との業務提携や取引展開等を積極的に推進し、事業領域の拡大と持続的成長のための機能強化・基盤強化に取り組んでまいります。

2025年2月期の業績につきましては、売上高は3,549,030千円（前事業年度比2.5%増加）、営業利益200,518千円（同25.6%減少）、経常利益201,179千円（同29.0%減少）、当期純利益120,707千円（同31.7%減少）をそれぞれ見込んでおります。

2. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2024年2月29日)	当中間会計期間 (2024年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	735,893	1,096,814
売掛金	291,318	224,114
電子記録債権	75,653	31,314
製品	12,466	26,500
原材料及び貯蔵品	58,815	57,185
未収還付法人税等	96,073	—
未収消費税等	37,744	—
前払費用	20,455	24,093
その他	480	821
貸倒引当金	△5,145	△1,187
流動資産合計	1,323,754	1,459,657
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	117,341	116,465
構築物（純額）	7,381	6,360
機械及び装置（純額）	135,690	138,200
車両運搬具（純額）	12,183	9,738
工具、器具及び備品（純額）	14,564	18,273
リース資産（純額）	15,176	12,051
建設仮勘定	—	385
有形固定資産合計	302,336	301,475
無形固定資産		
ソフトウェア	9,268	8,555
その他	1,180	1,180
無形固定資産合計	10,448	9,735
投資その他の資産		
長期前払費用	2,380	2,080
保険積立金	26,219	29,396
敷金及び保証金	61,361	61,350
繰延税金資産	19,315	40,832
その他	762	594
投資その他の資産合計	110,040	134,255
固定資産合計	422,825	445,466
資産合計	1,746,579	1,905,123

	前事業年度 (2024年2月29日)	当中間会計期間 (2024年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	61,444	115,232
1年内返済予定の長期借入金	221,759	246,474
リース債務	6,658	6,042
未払金	98,327	96,297
未払費用	22,632	31,055
未払法人税等	193	19,472
未払消費税等	—	3,807
契約負債	8,710	7,279
預り金	7,595	5,007
賞与引当金	13,918	13,918
その他	550	550
流動負債合計	441,790	545,135
固定負債		
長期借入金	592,025	629,809
リース債務	10,109	7,275
退職給付引当金	30,634	32,439
資産除去債務	34,034	34,054
その他	12,755	7,829
固定負債合計	679,558	711,408
負債合計	1,121,348	1,256,544
純資産の部		
株主資本		
資本金	77,518	77,518
資本剰余金		
資本準備金	2,518	2,518
資本剰余金合計	2,518	2,518
利益剰余金		
利益準備金	5,462	6,801
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	539,731	561,740
利益剰余金合計	545,193	568,542
株主資本合計	625,230	648,579
純資産合計	625,230	648,579
負債純資産合計	1,746,579	1,905,123

(2) 中間損益計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)	当中間会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)
売上高	1,811,003	1,376,106
売上原価	1,489,198	1,126,167
売上総利益	321,804	249,938
販売費及び一般管理費	193,430	216,549
営業利益	128,374	33,389
営業外収益		
受取利息及び配当金	13	83
受取賃貸料	3,498	6,248
受取手数料	2,727	76
保険解約返戻金	15,724	—
その他	463	703
営業外収益合計	22,427	7,112
営業外費用		
支払利息	4,110	4,983
支払保証料	1,115	391
その他	20	413
営業外費用合計	5,246	5,787
経常利益	145,555	34,714
特別損失		
固定資産除却損	15,195	—
特別損失合計	15,195	—
税引前中間純利益	130,359	34,714
法人税、住民税及び事業税	31,805	19,484
法人税等調整額	13,263	△21,517
法人税等合計	45,069	△2,032
中間純利益	85,290	36,747

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間会計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年8月31日)	当中間会計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前中間純利益	130,359	34,714
減価償却費	32,969	25,304
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,623	△3,958
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△3,000	—
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	1,561	1,805
受取利息及び受取配当金	△13	△83
支払利息	4,110	4,983
固定資産処分損益 (△は益)	15,195	—
売上債権の増減額 (△は増加)	41,333	111,543
棚卸資産の増減額 (△は増加)	9,149	△12,404
未収消費税等の増減額 (△は増加)	△6,768	37,744
仕入債務の増減額 (△は減少)	57,475	53,788
未払金の増減額 (△は減少)	△12,146	△1,610
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△63,947	3,807
その他	△7,713	786
小計	196,942	256,419
利息及び配当金の受取額	12	68
利息の支払額	△3,938	△5,037
法人税等の支払額	△262,635	△193
法人税等の還付額	—	96,073
営業活動によるキャッシュ・フロー	△69,619	347,329
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	42,211	20,039
定期預金の預入による支出	△60,000	—
有形固定資産の取得による支出	△21,803	△22,736
保険積立金の解約による収入	32,635	—
その他	△3,193	△3,992
投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,150	△6,689
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	50,000	200,000
長期借入金の返済による支出	△161,684	△137,501
長期未払金の返済による支出	△8,299	△5,345
リース債務の返済による支出	△4,162	△3,450
配当金の支払額	△42,441	△13,398
財務活動によるキャッシュ・フロー	△166,588	40,304
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	△0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△246,358	380,944
現金及び現金同等物の期首残高	1,097,144	715,869
現金及び現金同等物の中間期末残高	850,786	1,096,814

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社は、主に遊技機のリサイクル・リユース事業を行っており、単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。